

『神から離れないために』 ヨハネの福音書 6章60～71節 2017.9.24(聖日礼拝説教より)

『見よ。あなたから遠く離れている者は滅びます…しかし私にとっては、神の近くにいることが、しあわせなのです。私は、神なる主を私の避け所とし、あなたのすべてのみわざを語りあげましょう。』
詩篇73篇 27～28節

生き生きとした信仰は、どう保つ？

❶ **つまり弟子たち(60～63節)**…「わたしの肉を食べ、血を飲む者は永遠の命を持つ」との言葉に多くの弟子たちは去った。クリスチャンと言いつつ、自分が受け入れられないことがあれば教会を離れる現実！61節『このことであなたがたはつまりのか』…『つまり』とは『畏にかかる』こと。畏にかかれば命はない！救いを選ばなければ罪の故に滅びへ！『いのちを与えるのは御霊(63節)！聖餐式のパンとブドウ液が、2千年前のイエスの十字架(裂かれた身体と流された血)を表し、罪ある私の身代わりの身体、今の私の汚れを聖める血として実感できるのは、御霊による！

❷ **主だけを頼りに生きる弟子となる(64～69節)**…ここでイエスは言う！『あなたがたのうちに信じない者がいます』…イエスは初めから裏切る者が誰かを知っておられた…「その人は悪魔」(64,70節)だ！イエスは、ユダも含めた12弟子に、そして今日の私たちに真実な愛をもって迫り、「日々悔い改め、神から離れず、恵みから落ちないように」と警告される！「悪魔」とは、神の愛を信じない傲慢な人！神が何を願うかなど関係なく、「私」がどう感じ、「私」がどう考えるかが一番！つまり「私」が神！ペテロが十字架を否定した時イエスは、「下がれ。サタン…あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている(マタイ 16:23)」と叱責！悪魔が帳消しにしたいのは、イエスの贖い！人が信仰を保てず、教会を離れる唯一の原因は、『贖い(身代わり)』がわからないから！ここでペテロは答える『主よ。私たちが誰のところに行きましょう。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。私たちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています 68～69節』！あなたは、永遠の命を伝えに天から来られた神(メシヤ)です！と信仰を告白！『信じる・知る』とは理屈ではなく、イエスと人格的・個人的に結びつくこと！

★あなたは目に見える現実だけに捉われ、神が何を願っておられるかを考えない悪魔的人生？それとも、イエスの十字架の贖いを信じ、全ての罪を赦され聖められ、いつも御愛に結ばれた、生き生き人生だろうか？「わたし(イエス)の他に、あなたの頼りとするものがあるのか？」との御声を聴き、信仰の自己吟味をしよう！